

令和6年度 シラバス

| | | | |
|---|--------------|----------|-------|
| 科目名 | 単位数 (時間数) | 学科・学年 | 担当者氏名 |
| 衛生管理 (衛生管理技術) | 1 単位 (30 時間) | 理容科・2 学年 | 高山 千香 |
| 学 習 目 標 | | | 授業の方法 |
| 衛生管理を学ぶ目的は、理容業・美容業が不特定多数の人の皮膚や毛髪に直接接触し、刃物や薬剤などを用いて業務するところであり、特に消毒法は、理容・美容業務の衛生性を担保するうえで最も重要な技術であることから、実施する意義を十分理解させるとともに、適正な実施方法を身に付けさせることが大切である。 | | | 講義 |
| 成 績 の 評 価 方 法 | | | |
| 定期考査 (60 点以上を合格とする) | | | |
| 教 科 書 | | 副 読 本 | |
| 衛生管理 (公益社団法人 日本理容美容教育センター) | | | |

学習指導年間計画 (授業計画)

| 章 | 項目 | 学習指導目的 | 履修時間 |
|--------------|------------------------------------|--|------|
| 第一章 消毒法総論 | 1. 消毒とは 2. 消毒の意義 | <ul style="list-style-type: none"> 「消毒」は理・美容師にとって必要不可欠な作業であることを理解させ、また、消毒法の歴史など消毒を学ぶための基礎知識を学習する。 消毒法とは何かという基本概念を学習する。 | 5 h |
| | 3. 理・美容の業務と消毒との関係 4. 消毒法と適用上の注意 | <ul style="list-style-type: none"> 「理容師法」「美容師法」のうち、公衆衛生に関する条項をしっかりと理解させる。 「消毒法」の基本と注意点について理解させる。 | 3 h |
| 第二章 消毒法各論 | 1. 理学的消毒法 | <ul style="list-style-type: none"> 理学的消毒法では熱を利用する方法が簡単で効果も確実であることを理解させる。 | 3 h |
| | 2. 化学的消毒法 | <ul style="list-style-type: none"> 消毒薬を用いて行う化学的消毒法について学習する。 主として理・美容に関係の深い消毒薬であり、殺菌消毒剤の一部について学習する。 | 4 h |
| | 3. 優れた消毒法とその実施上の注意 | <ul style="list-style-type: none"> 被消毒物と消毒法が合致していなければ、効果を期待できないことや、見落としがちな注意点について学習する。 | 1 h |
| 第三章 消毒法実習 | 1. 各種消毒薬 | <ul style="list-style-type: none"> 消毒薬を希釈する場合の濃度計算や、器具の扱い方などについて学習する。 | 7 h |
| | 2. 理・美容所の消毒の実際 | <ul style="list-style-type: none"> 理・美容の現場で行われている、用具別の消毒方法を学習する。 | 3 h |
| | 3. 理・美容所の清潔法の実際 | <ul style="list-style-type: none"> 理・美容所内とその周辺の清潔法について学習する。 | 3 h |
| 総合学習 | | | 1 h |